

あいの助密書

～愛・達・1～の助

お陰様で第1号

行社所 酸素
有眼店 山サボートあいの
五五フ 助岡山営業所

さくら住座を根城に活動中



地域の皆様とともに

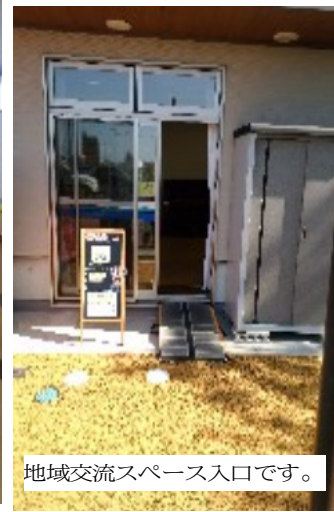
地域の皆様の暮らしを「陰ながら」と支える」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店ライフサポートあいの助ですが、倉敷市玉島から岡山市中区さくら住座

に拠点を移しはや数か月。あまりにも強い、忍者としてのプロ意識が災いし、今や誰も知らないステルス事業所と化しております。「この有様で、地域のご高齢者を支える任務

を全う出来るものか！」と親方(弊社代表)から檄が飛び、この期に及んではもはやPR書を配るしかないと言悟を決めて、軍団(スタッフ)の取り組みなどをそっと密書としてお配りすることに致しました。今後ともお見知りおきの程、宜しくお願ひ申し上げます。



食べましょう！



地域交流スペース入口です。



隣接する売店です。



目の前はさくら住座市営住宅。

場所は岡山市中区さくら住座十の一で、社会福祉法人岡山博愛会在宅総合支援センターアリス様の一階、地域交流スペース

肝心の福祉用具貸与・販売の体制ですが、福祉用具専門相談員三名で運営しております。酸いも甘いも噛み分けたおじさんスタッフばかりです。若い方のようなフレッシュさは到底ございませんが、

趣味は読書(特に時代小説が好きです)、漫画(漫画喫茶に入り浸ります)、映画鑑賞(Netflixは難解でした)と、インドア派ですが、高校、大学時代にはラグビー部で鍛えられまして(今は見影もない体型ですが...)体力には自信あります。福祉用具の誇るべき特性として「導入した瞬間に自立できる可能性がある」

重い人生の年月を背負った経験値という厚みは持ち合わせておりますので何なりとご相談ください。

スタッフ紹介

マスクottキャラクターあいの助くんは覆面をしておりますが、スタッフの顔を覚えて頂きたく、



あいの助軍団2号

自己紹介をさせて頂きま

す。定光一郎と申します。昭和四十三年生まれの五十二歳。山中中学校(古墳の上にある学校です)、岡山一宮高校、北九州大学 商学部出身。大学卒業後、博多の老舗 児島

洋紙(株)に入社。後、長崎営業所へ転勤。その長崎の地で、障がい者の想いや日常を綴った詩に曲をつけて発表する「わたぼうしコンサート」に出会い、ボランティアスタッフとして参加。その関りの中で、それまでの世界観が崩れていく衝撃を感じる。以来ボランティア

活動に没頭。その後、福祉関連の仕事をしたくなり退職。地元岡山に戻り、福祉用具専門相談員として人生を再スタートする。ところが、三年程前に突然「これからは農業と福祉が連携する時代だ」と目覚め、農業がしたくなったため、当時在籍していた福祉用具事業所を

退職。ですが、世の中そんなに甘くはなく、すぐに生活困窮状態に陥り、再就職。只今ライフサポートあいの助岡山営業所の一員として頑張っております。ただ、農業を諦めた訳ではなく、現在は週末農家として、まだまだ野望に燃えております。まだ6株ですが、アボカド栽培に挑戦中です。そちらのライフワークも追々報告致します。美味しいアボカドをみんなで食べましょう！